

「日本膜学会膜学研究奨励賞」推薦のお願い

会員の皆様には、日頃よりの日本膜学会への御理解と御支援をありがとうございます。

日本膜学会では若手研究者の膜に関する研究を評価し、研究への意欲と参加を促すことを趣旨として、「日本膜学会膜学研究奨励賞」を設定いたしております。

膜学の研究分野は多岐にわたり、幅広い活動が内外ともに期待されている現状にあって、膜学の将来を担う若手研究者の育成は、本学会の使命であります。ここに「日本膜学会膜学研究奨励賞」設定の趣旨をお汲み取りいただき、一人でも多くの候補者を御推薦いただきたくお願い申し上げます。

2021年 7月

一般社団法人日本膜学会会長 岡村恵美子

日本膜学会膜学研究奨励賞募集

1. 趣旨

若手研究者による膜に関する優れた研究成果を評価することにより、若手研究者の膜学研究への参加を促し、日本膜学会の一層の発展を期し、日本膜学会膜学研究奨励賞を設置する。

2. 受賞対象

膜学研究において卓抜な業績を挙げ、受賞対象となる研究について学術論文誌に発表した本会個人会員（申請時）とする。さらに、受賞年（2022年）の4月1日現在において満40歳未満であることとする。

3. 表彰件数および内容

3名以内、賞状および副賞。

4. 応募方法

- 1) 1名以上の本会会員（特別維持会員、維持会員または個人会員）の推薦による。ただし本会会員が推薦できる人数は、特別維持会員、維持会員、個人会員ともに1名あたり1名とする。
- 2) 推薦者は候補者本人の了解を得た後、所定の書式（下記日本膜学会ホームページよりダウンロードして下さい）による推薦書を2021年10月末日までに本賞選考委員会に郵送する（郵送先は本会事務局あて）また、別途メール添付ファイルにても送付ください。
- 3) 推薦された候補者は2021年11月末日までに研究内容説明書、および推薦書に記載されている発表内容の別刷りまたはコピーなど（以下、選考資料とよぶ）をメールあるいは郵送で提出しなければならない。人工膜・生体膜・境界領域のいずれかの希望審査分野も明記のこと。（選考資料は、原則として返却しない。）
- 4) 研究内容説明書には、推薦書の内容説明をA4用紙2枚以内にまとめ、文頭に“研究題目「……」”，“内容説明”，“研究奨励賞候補者（氏名）”を上から順に記入して下さい。膜学における独創性・萌芽性・発展性を記載すること。また、今後のどのように膜学に貢献してゆくのかについても具体的に記入すること。なお、その他に特記する事項がある場合には、特記事項を記載すること。

5. 選考および表彰方法

- 1) 本学会内に、本賞選考委員会を設置する。委員長は本会会長とする。委員は数名として年度毎に本会役員および編集委員の内から委員長が任命する。
- 2) 選考委員会は推薦書および選考資料に基づいて厳正に審査を行うが、選考委員会の合意のもとで口頭審査の場を設けることができる。
- 3) 選考委員長は選考経過および結果を本会総会において報告する。
- 4) 表彰は、本会総会時に行う。

一般社団法人日本膜学会ホームページ：<http://maku-jp.org/>